

ルミビア™ FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/01/13	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

Corteva Agriscience™ は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M) SDS を熟読され、ご理解されるようお願いしております。この SDS は、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。この SDS は、日本の法規制及び JIS Z 7253 に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ルミビア™ FS

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社情報

製造業者/輸入業者

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社
100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3410
電子メールアドレス : SDS@corteva.com
FAX番号 : 03-3519-3370

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 殺虫剤

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類


水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 1

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分 1

GHS ラベル要素

ルミビア™ FS

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/01/13 800080101189 初回作成日: 2023/01/13

- 絵表示又はシンボル : 
- 注意喚起語 : 警告
- 危険有害性情報 : H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
- 注意書き : **安全対策:**
P273 環境への放出を避けること。
応急措置:
P391 漏出物を回収すること。
廃棄:
P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
Chlorantraniliprole	500008-45-7	50	8-(1)-3379
Alcohols, C12-C15, ethoxylated	68131-39-5	>= 0.3 - < 1	10-1704

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 中毒情報センターまたは医師に問い合わせるときや治療に行くときは、製品の容器またはラベルを持っていくこと。
- 吸入した場合 : 化合物は危険有害であるとは思われないので、特別な措置は必要ではない。
必要であれば医師に相談する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚接触では、この化合物が危険有害となる可能性はないが、使用後に皮膚の洗浄が望ましい。
必要であれば医師に相談する。
- 眼に入った場合 : 化合物は危険有害であるとは思われないので、特別な措置は必要ではない。
目に入った場合、水で 15 分間すすぐ。
必要であれば医師に相談する。

ルミビア™ FS

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/01/13 800080101189 初回作成日: 2023/01/13

- 飲み込んだ場合 : 化合物は危険有害であるとは思われないので、特別な措置は必要ではない。
必要であれば医師に相談する。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 人に対する中毒の例は知られていない、また実験的中毒の症状も知られていない。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。
-

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧
泡
二酸化炭素 (CO₂)
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし。
- 特有の危険有害性 : 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。

火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 有害燃焼副産物 : 火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。
燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない:
窒素酸化物 (NO_x)
フッ化水素
塩化水素ガス
炭素酸化物
- 特有の消火方法 : 安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。
区域から退避させること。
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。
保護具を使用する。
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護 : 適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び緊急時措置
- 環境に対する注意事項 : 環境への放出は必ず避けなければならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
広範囲に広まるのを防ぐ (封じ込めまたはオイルバリアなどによる)。
汚染された洗浄水を保管し、処分する。
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。
-

ルミビア™ FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/01/13	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

封じ込め及び浄化の方法及び : 適切な吸収剤を使って流出の残余物を除去する。
機材 本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。
大規模な流出の場合は、物質が広がらないように、堤防で囲うか、他の適切な封じ込めを行う。堤防で囲った物質をポンプで汲み出せるのであれば、回収物質は、ベント付き容器に保管すること。
漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。
吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。
追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 : 蒸気/粉じんを吸い込まない。
十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

接触回避 : 強酸
強塩基類

衛生対策 : 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。
取扱後および飲食、ガム、タバコの使用前、またはトイレ使用前には、石鹸と水でよく手を洗う。
使用後は、全ての保護服を洗う。

保管

安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。
適切なラベルのついた容器に入れておく。
各国の規定に従って保管する。

混触禁止物質 : 強酸化剤

安全な容器包装材料 : 適さない材質: 知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

ルミビア™ FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/01/13	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

- 設備対策** : 特に、閉所では十分な換気の確保が必要。
従業員への暴露を勧告限界値以下に保つため十分な換気を行う。
- 保護具**
- 呼吸用保護具 : 適切な許容限界を超えた濃度で、空気中の浮遊物質に暴露される可能性がある場所では、承認されたダストおよびミスト用カートリッジ付呼吸保護具を着用すること。
- 手の保護具
- 備考 : この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例：ポリ塩化ビニル(PVC またはビニル)。ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム(ニトリルまたはNBR)。注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件（切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護）、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。
- 眼の保護具 : この物質との接触を避けるため保護用眼鏡を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 手袋、前掛け、長靴、カバーオールなどの保護衣を必要に応じて着用すること。
- 保護対策 : この製品を使用するとき、製品の最終使用者は保護措置に関するラベルの指示に従わなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 粘性液体
- 色 : 青色
- 臭い : かすか
- 融点/ 範囲 : データなし
- 沸点/ 沸騰範囲 : データなし
- 可燃性 (液体) : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界
爆発範囲の上限 / 可燃上限値 : データなし
- 爆発範囲の下限 / 可燃下限値 : データなし
- 引火点 : > 93 ° C

方法: 密閉式引火点試験

ルミビア™ FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/01/13	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

自己発火性	: データなし
pH	: 4.9 - 5.9
自然発火点	: データなし
粘度	
粘度(粘性率)	: データなし
動粘度(動粘性率)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	
密度	: 1.23 - 1.27 gPcm3
相対ガス密度	: データなし
自己発熱性化学品	: データなし
粒子特性	
粒子サイズ	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	: 知見なし。
混触危険物質	: 強酸 強塩基類
危険有害な分解生成物	: 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。 分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない: 窒素酸化物(NOx) 炭素酸化物

ルミビア™ FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/01/13	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 425
- 急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.08 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 403
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
- 急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

成分:**Chlorantraniliprole:**

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
- 急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): > 5.1 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 403
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
- 急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402

Alcohols, C12-C15, ethoxylated:

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 1,000 mg/kg
方法: 推定値。
- 急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): 1.6 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: 類似物質について
備考: 数分間の短時間暴露では、有害影響は起こりにくい。

ルミビア™ FS

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/01/13 800080101189 初回作成日: 2023/01/13

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性**製品:**

種 : ウサギ
曝露時間 : 72 h
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚刺激なし

成分:**Chlorantraniliprole:**

種 : ウサギ
結果 : 皮膚刺激なし

Alcohols, C12-C15, ethoxylated:

種 : ウサギ
結果 : 皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性**製品:**

種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし
曝露時間 : 72 h
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

成分:**Chlorantraniliprole:**

種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

Alcohols, C12-C15, ethoxylated:

種 : ウサギ
結果 : 腐食性

呼吸器感作性又は皮膚感作性**製品:**

試験タイプ : 局所リンパ節試験

ルミビア™ FS

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/01/13 800080101189 初回作成日: 2023/01/13

種 : モルモット
アセスメント : 皮膚感作性なし。
方法 : OECD 試験ガイドライン 429

成分:**Chlorantraniliprole:**

種 : マウス
方法 : OECD 試験ガイドライン 429
備考 : 皮膚感作性:
モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

備考 : 呼吸器感作性:
関連のあるデータは得られていない。

Alcohols, C12-C15, ethoxylated:

備考 : モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

備考 : 呼吸器感作性:
関連のあるデータは得られていない。

生殖細胞変異原性**成分:****Chlorantraniliprole:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vivo 試験で、突然変異誘発性が示されなかった。、 In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。

発がん性**成分:****Chlorantraniliprole:**

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

生殖毒性**成分:****Chlorantraniliprole:**

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。
実験動物において発生毒性は観察されなかった。

ルミビア™ FS

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/01/13 800080101189 初回作成日: 2023/01/13

特定標的臓器毒性（単回ばく露）**製品:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

成分:**Chlorantraniliprole:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

Alcohols, C12-C15, ethoxylated:

アセスメント : 入手可能データは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）**製品:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（反復ばく露）を示さない。

成分:**Chlorantraniliprole:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（反復ばく露）を示さない。

反復投与毒性**成分:****Chlorantraniliprole:**

投与経路 : 飲み込んだ場合
曝露時間 : 90 d
方法 : OECD 試験ガイドライン 408
備考 : 毒性学的に重大な影響は見られなかった。

投与経路 : 皮膚接触
曝露時間 : 28 d
方法 : OECD 試験ガイドライン 408
備考 : 毒性学的に重大な影響は見られなかった。

Alcohols, C12-C15, ethoxylated:

ルミビア™ FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/01/13	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

備考 : 入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、追加的な顕著な有害影響は予期されない。

誤えん有害性**製品:**

物性上、誤えん有害性は低い。

成分:**Chlorantraniliprole:**

物性上、誤えん有害性は低い。

Alcohols, C12-C15, ethoxylated:

入手可能な情報によると、誤えん有害性は確定されていない。

12. 環境影響情報**生態毒性****製品:**

魚毒性 : LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): > 7.74 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 203
GLP: 該当

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.0138 mg/l
曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202
GLP: 該当

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 7.74 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
GLP: 該当

成分:**Chlorantraniliprole:**

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 13.8 mg/l

ルミビア™ FS

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/01/13 800080101189 初回作成日: 2023/01/13

曝露時間: 96 h

LC50 (*Ictalurus catus* (ナマズ)): > 13.4 mg/l
曝露時間: 96 h

LC50 (*Lepomis macrochirus* (ブルーギル)): > 15.1 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 0.0116 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (*Selenastrum capricornutum* (緑藻)): > 2 mg/l
曝露時間: 72 h

M-ファクター (水生環境有害 : 10
性 短期 (急性))

M-ファクター (水生環境有害 : 10
性 長期 (慢性))

Alcohols, C12-C15, ethoxylated:

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 0.14 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (*Selenastrum capricornutum* (緑藻)): 0.75 mg/l
曝露時間: 72 h
備考: 類似物質について

(*Pseudokirchneriella subcapitata* (ムレミカヅキモ)):
0.07 mg/l

エンドポイント: NA

曝露時間: 96 h

方法: 方法不特定.

M-ファクター (水生環境有害 : 1
性 短期 (急性))

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (*Pimephales promelas* (ファットヘッドミノ
ウ)): 0.28 mg/l
曝露時間: 30 d

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 0.77 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 21 d

残留性・分解性**製品:**

生分解性 : 備考: 易分解性ではない。

ルミビア™ FS

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/01/13 800080101189 初回作成日: 2023/01/13

活性成分のデータに基づく推定

成分:**Chlorantraniliprole:**

生分解性 : 方法: OECD 試験ガイドライン 301
備考: 易分解性ではない。

Alcohols, C12-C15, ethoxylated:

生分解性 : 結果: 易分解性。
備考: 物質は易分解性である。OECD 易分解性試験に合格している。

好気性

接種: 活性汚泥、生活排水、非馴化

含有量: 20 mg/l

生分解: 61 %

曝露時間: 28 d

方法: OECD テストガイドライン 301B あるいは同等のもの

備考: 10-day Window: 不合格

生体蓄積性**製品:**

生体蓄積性 : 備考: 生物濃縮されない。
活性成分のデータに基づく推定

成分:**Chlorantraniliprole:**

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 2.76 (20 ° C)
(log 値)

Alcohols, C12-C15, ethoxylated:

生体蓄積性 : 生物濃縮因子 (BCF) : 81.07
方法: 計算値.

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 3.4
(log 値) 方法: 推定

土壌中の移動性**製品:**

環境中の分布 : 備考: 製品は土壌中で移動するとは考えられていない。

ルミビア™ FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/01/13	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

成分:**Chlorantraniliprole:**

環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

Alcohols, C12-C15, ethoxylated:

環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

オゾン層への有害性**成分:****Chlorantraniliprole:**

オゾン層破壊係数 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

Alcohols, C12-C15, ethoxylated:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

他の有害影響**製品:**

PBT および vPvB の評価結果 : この混合物には、残留性、生物濃縮性および毒性がある (PBT) 物質は含まれていない。この混合物には、極めて高い残留性および極めて高い生物蓄積性の (vPvB) 物質は含まれていない。

成分:**Alcohols, C12-C15, ethoxylated:**

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性 (PBT) は評価されていない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
以下の情報は購入時の状態のときのみ適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性

ルミビア™ FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/01/13	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を決める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。
内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number)	: UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Chlorantraniliprole)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 9

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	: UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	: Environmentally hazardous substance, liquid, n. o. s. (Chlorantraniliprole)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: Miscellaneous
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft))	: 964
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft))	: 964

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number)	: UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Chlorantraniliprole)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 9
EmS コード (EmS Code)	: F-A, S-F
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant)	: 該当
備考	: Stowage category A

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当) 供給された状態の製品には非該当。

ルミビア™ FS

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/01/13 800080101189 初回作成日: 2023/01/13

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

詳細情報

国連番号 3077 及び 3082 に割り当てられた海洋汚染物質は、液体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味容量が 5L 以下、固体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味質量が 5kg 以下の単一もしくは組合せ容器において、IMDG コードセクション 2.10.2.7、IATA 特別規定 A197 および ADR/RID 特別規定 375 に規定されるように、非危険物として輸送することができる。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

15. 適用法令

関連法規

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

2023 年 3 月 31 日まで

非該当

2023 年 4 月 1 日から

第一種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
3-ブロモ-N-[4-クロロ-2-メチル-6-(メチルカルバモイル)フェニル]-1-(3-クロロピリジン-2-イル)-1H-ピラゾール-5-カルボキサミド	723	50

農薬取締法

16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

ルミビア™ FS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/01/13	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

その他の略語の全文

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); EC_x - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; EL_x - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErC_x - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA